

...ボランティアがつくるニュースレター...

作 成…トラスト通信ボランティア
発 行…(一財)世田谷トラストまちづくり

〒155-0031
世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール7階
Tel・03(6407)3311 Fax・03(6407)3319
<http://www.setagayatm.or.jp/>

トラストネットワーク



No. 72 2016年6月

新しいタイプの「小さな森」

成城学園前駅の駅ビル「成城コルティ」の4階には、「雑木林の丘」と「オリーブの庭」の2つの屋上庭園があります。ここは、平成27年度に登録されてまだ日の浅い「小さな森」です。

これまで「小さな森」は個人所有の庭園がほとんどでしたが、この「成城コルティの庭園」と有料老人ホーム「グランダ上野毛」の庭園が企業所有の民有地の庭園として加わったことで、「小さな森」は14箇所(2016年2月末現在)になりました。

成城コルティの小さな森は、2つの庭園を合わせて面積が約850平方メートルと、かなりの広さです。駅ビルの新宿寄りにあるのが「雑木林の丘」です。名前の通り、葉が茂っている季節はかなり多くの木々が植えられているように感じられます。庭園の入口の手前といちばん奥にベンチが設けられており、ゆっくり休むことができます。

夕刻は、学校帰りの中学・高校生がグループで飲料水などを飲みながら談笑したり、教科書やノートを開いて話し合ったりする姿をよく見かけます。

一方、駅ビルの小田原寄りにある「オリーブの庭」はやや小さく木が少ないので、小田原方面への線路の先に、山々が連なってそびえており、その上に富士山が顔を出しているのがよく見られます。とくに、日の入り前後のシルエットの富士山は印象的ですし、冬の晴れた日に見える雪をいただいた富士山はすばらしい眺めです。

この「小さな森」は、「成城コルティ」の営業時間(10:00~22:30)には公開されていますので、一度、訪れてみてはいかがでしょうか。



← 雑木林の丘

72号の目次

新しいタイプの「小さな森」	1
フラワーランド春の花まつり	2
せたがや散歩道	3
第41回野川せせらぎ教室	6
かわらばん	8

オリーブの庭→



フラワーランド春の花まつり

2016

ゴールデンウィーク最後の休日となった5月7・8日「フラワーランド春の花まつり2016」が開催されました。当日は五月晴れに恵まれ、また、公園内にはバラやジャーマンアイリス、矢車草などが咲き乱れ、絶好のお花見日和となりました。

例年通り、初日の体験コーナーは「朝顔のポットあげ」、「自分で作る培養土と草花苗のさし芽」。そして「ローズガーデンの案内」。2日目は「春のミニブーケづくり」と「園内散策ツアー」。2日間とおして行われたのが、「園内を巡るスタンプラリー」、「オープンカフェ」、「ミニ苔玉づくりの実演」、「サギソウの育て方等の相談」、「菊づくりの相談」、それから「余剰苗のチャリティ頒布」でした。



真剣な顔で、割り箸を使って苗床からやっとの思いで朝顔の苗を掘り起こし、牛蒡根（ごぼうね）（朝顔の苗の根の先端のほうで、まっすぐに伸びていて、横に根が出ていない部分）を切り、ポットに植込む子供たちや、楽しそうに、赤玉土・バーミキュライト・モミガラ燐炭を容器にとり、素手で混

ぜ合わせて、草花の苗の挿し芽の培養土をつくる子供達を見ているとこちらも楽しくなります。



見ていて、一番楽しく、微笑ましかったのが、「ミニブーケづくり」。庭園に咲いているバラ、矢車草等の切花の中から、バラ2本、矢車草・アグロステンマなどの花の中から7本、斑入りギボシ等の葉物の中から3本を選び、お姉さん達に花束を作ってもらいますが、花選びには大人も子供も真剣そのもの。花を選び終えたときの満足顔は、見ているこちらも楽しいものでした。

「ミニ苔玉づくりの実演」コーナーは人気が高く、参加者が見学だけでなく自ら実演を希望したりしました。その結果「体験コーナー」の様子を呈していました。

「ポット上げ」等の「体験コーナー」は各組とも15組の予定でしたが、参加希望者が多かったため、午後の部は参加者数を増やして対応していました。

「余剰苗のチャリティ頒布」は、朝顔の苗、孔雀サボテンなどの花が咲くものから無くなっていました。さらに、ミニ苔玉までも無くなっていました。朝顔の苗等がもっと欲しかったという声もありました。

せたがや 散歩道

新しい道をたずねて

～景観と福祉のまちづくり～

世田谷区初の都市デザイン事業として、景観と福祉に配慮した道が出来ていると聞きました。

等々力三丁目から松原二丁目に至る都市計画道路補助第154号線。災害時などの緊急輸送路及び地域生活拠点をつなぐ役割を担う交通軸であり、区内の南北地域を結ぶ重要な地区幹線道路であると区の公告に記されています。昭和36年に計画決定、昭和43年に工事を始めたという長期にわたる事業です。

このたび松原五丁目までの工事が終わり、梅丘二丁目交差点から世田谷通り交差点までの1.1kmの相互通行が3月に可能になったとのことでした。

古道とは違う趣の新しい道を北から南へ歩いてみました。

井の頭線「東松原」下車

改札を出ると右手西側へ階段を下り、商店街へ出ます。私鉄沿線住宅地の昭和の雰囲気を残しながら時代も取り入れた町並みは心地よい賑わいを見せています。踏切から続く小路を道なりに進みます。

商店街はきれいな住宅街へと変わります。

しばらく行くと急に展望が開け左側に羽根木公園の入口、右側に広い道路を中心にした三叉路に出ます。広い道路は今回工事の終わった松原五丁目



の交差点に続いています。

羽根木公園入口に沿った小路に入り、高い樹木を目当てに進むと松羽稲荷神社の入口に出ました。鳥居をくぐり高台に上がると、こじんまりした祠があります。



街騒の少し遠のく木下間

三叉路からの道に戻り進むと広い道路に、右手に税務署の建物、目指していた道路に出ました。



松原六丁目13付近(北沢税務署横)

街路樹の美しい路へ

春から夏へちょうど季節の変わり目でもあり、街路樹のハナミズキの白と、ツツジの濃いピンクの花々がここでもみずみずしいコントラストを見せています。

梅ヶ丘駅、世田谷通りへ向けてほぼ一直線に伸びるこの道路には北沢税務署、梅丘中学、北沢警察署、光明特別支援学校、近くに総合福祉センター、世田谷区役所、世田谷保健所など公共施設が並びます。地図や案内に、AEDや車いす用トイレ、オストメイト対応トイレなどの位置が示されています。

1985年、住民参加による歩道整備が実施され、その記念として梅丘中学横の辻広場に記念プレート、草花タイルの表示板が設置されています。その後

道路全体の整備がなされ、この地域は「福祉のまちづくり」モデル地区と言われています。



記念プレート

梅ヶ丘駅の手前で交差する赤堤通りも街路樹の美しい道です。

これも交差する北沢川緑道は花壇に花の溢れる散歩道で、このまま辿って行きたい気分になります。時間があればそれもよいでしょう。

あっという間に見失う黒揚羽



もとの道に目をやると、すぐ前に小田急線のガードがあり、高架に沿って100mほど左へ行くと「梅ヶ丘」駅に出ます。駅付近はさすがに賑やかです。飲食店の多いここらでちょっと一休みするのもよいかもしれません。

梅丘二丁目交差点

駅を過ぎて少し行くと、滝坂道と交差するところに「梅丘二丁目」の信号があります。この坂道の頂上と分かる地点です。

ここからの下り坂は、景観のまちづくりの見どころで、電柱や電線がありません。そのためか空がすがすがしく見えます。3月開通したばかりの新しい道路は白く明るく、築まだ間のなさそ

うな家並みが整然と続きます。

しばらく行くと道の両側にわ



梅丘二丁目交差点方向の眺め

国士館大学のキャンパスがひろがり、創立100周年の垂れ幕が目を引きま。そばに烏山川緑道の入口があり、そちらも覗いてみたい興味をそそられます。



世田谷線 世田谷駅方向の眺め



松陰神社（若林4-35-1）

世田谷線「世田谷」駅を目前に、左に折れ、区役所を抜けて、吉田松陰を祀る松陰神社へ寄りました。

吉田松陰は安政の大獄により処刑され小塚原の回向院に葬られ、門下の高杉晋作、伊藤博文らによって毛利家の抱屋敷があった若林に改葬。明治15年（1882）に社殿が築造されたそうです。

神社は、昨年大河ドラマで人気が出たとか、この日も参拝者が切れ目なく続いていました。グループで来ている人も多く、メモや案内の標示を見ながら話し合ったり頷き合ったりしっています。山口県萩市の松下村塾を模した建物は、現在耐震工事中で、平成28年10月ころ完成の予定だそうです。境内には来訪者用のトイレやスロープが用意されています。

木漏れ日のやさしい墓所には、徳川家奉納の灯籠との説明がありました。

境内の人はゆっくり若楓



松陰神社



徳川家奉納の灯籠

世田谷通り交差点

もとの道に戻り、世田谷線「世田谷」駅横の踏切を渡るとすぐ左手に円光院（世田谷4-8）があります。この境内は区立桜小学校の発祥の地だそうです。

さらにすぐ隣には、作家寺内大吉の生家でもある大吉寺があります。



円光院



大吉寺

いずれもかつての世田谷城主吉良氏にゆかりのある寺院です。眼前は世田谷通り、街が急に賑やかになります。道はまだ続きますが、電線のない空、景観と福祉の街はここで終わりです。

参考資料

- ・ 公告「都市計画道路補助第154号線の開通について」

平成27年2月4日 世田谷区道路整備部

- ・ 世田谷区歴史・文化財マップ

平成21年3月30日 世田谷区教育委員会

第41回 野川せせらぎ教室 ～春！ 草花と遊ぼう！～

4月24日(日)午前9時半から、雨天のため野川の神明橋近くにあるビクターセンター内ではじめました。参加者は6組で、親子連れが中心に集まりました。

はじめに「世田谷トラストまちづくり」と「野川の会」から挨拶とスケジュールの説明がありました。

野川の草花*1の説明会

事前に野川沿いで採集しておいた野草について3名の担当者から一つ一つわかりやすく、ゆっくりと解説していきました。



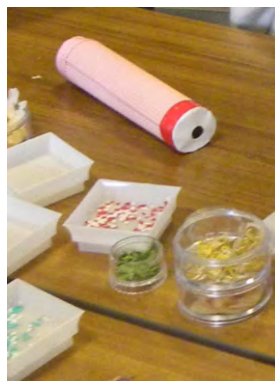
植物を解説しているところ

草花の万華鏡

野川の草花について説明会をしてから草花の万華鏡作りをしました。

親子いっしょになって互いに手伝いながら熱心に工作されていました。

手作りの作品をのぞきながら親子で歓声をあげてよろこんでいる姿は印象的でした。



万華鏡づくり



万華鏡作りに熱中している

紙芝居「外来種ってなんだろう？」

草花の万華鏡作りをしてから、自然環境についての紙芝居を見せてもらいました。

アレチウリ*2の一生を話しながら外来種のきまりとして

- ① むやみに日本国に入れない。
- ② 飼っている生き物を捨てない。
- ③ これ以上広げない。

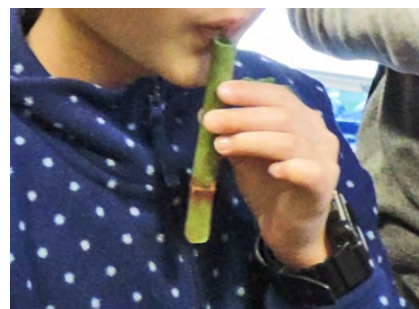
のことを紙芝居でわかりやすく紹介されました。



紙芝居をしている桜井さん

イタドリの草笛

イタドリの草笛も作って遊びました。草笛のふきかたに工夫が必要でした。



イタドリの
草笛を吹く

野川の植物観察へ

雨も上がったので、11時ごろから野川の河原に出て、植物観察を行いました。

野川沿いの草花も雨あがりなので生きいきとして、新鮮な姿を観察することができました。

そして12時に谷戸橋公園の近くで参加者のみなさんと解散しました。



野川の植物観察へ



せせらぎ教室のフィールド
神明橋下流の野川

アンケートの結果から

- ◎ 楽しく勉強になりました。
- ◎ 植物の名前の由来など、覚えやすく教えていただいていたよかったです。
- ◎ 紹介していただいた写真と一覧表がよかったです。
- ◎ とても丁寧に指導して下さってありがとうございました。

などの感想をいただきました。有難うございました。今後の観察会に役立てて行きたいと思います。

【注】

*1 観察した草花の名前

せせらぎ教室のスタッフの方々が、前日までに採取し、整理しておいた標本類を説明しました。以下の20種類ほどの野草が野川の春の草花として採り上げられました。

ツクシ・スギナ	キュウリグサ
カラスノエンドウ	オオイヌノフグリ
ハマダイコン	ハコベ
ムラサキケマン	ノビル
ホトケノザ	カタバミ
フラサバソウ	ヤエムグラ
ヨモギ	セイヨウカンナ
イタドリ	オランダミミナグサ
オオアマナ	ツルボ
カラスムギ	ムラサキサギゴケ

代表的な写真〈3種〉



ツクシ・スギナ



オオアマナ



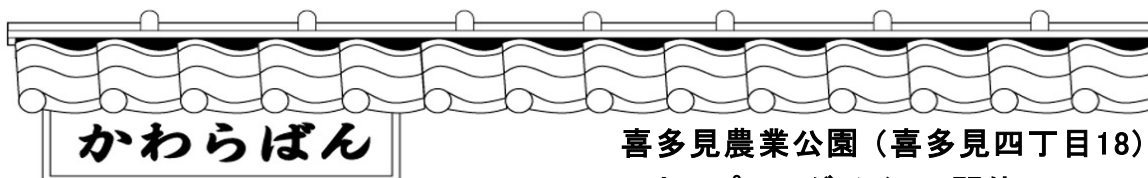
イタドリ

*2 アレチウリ

ウリ科の大型植物で一年生草本。

北米原産で日本では本州以南で生息している帰化植物。特定外来生物に指定されている。多摩川の河川敷ではツバメのねぐらとなるヨシ原がアレチウリに浸食され減少している。
(<https://ja.wikipedia.org/wiki/>)より

本稿の写真と資料は、松宮丞二さん（「野川の会」会員）のご好意によります。あらためて感謝いたします。



トラストネットワーク紙 No.71を読んで
・シンポジウム「みどりのライフスタイル
を広げよう！」

保坂区長の世田谷区は大都市並みの人口を抱えている。

①そこへ「みどりを活かした成城のまちづくりの成果を区全体の活動へ広げたい。」とのこと。

②そして成城自治会と世田谷トラストまちづくりの協力を進めている。

③エリアマネジメントの考え方から成城スタイルブックを制作している(2017年度完成予定)。

自治会とトラストまちづくりの協力のあり方が評価され、素晴らしいと思います。

・みどりのライフスタイル

東京農大阿部伸太准教授の講演

「都市づくりには景観が大切」と。

後半のワークショップでは日頃から感じているみどりや、まちづくりについての意見交換。

・せたがや散歩道～水道道路を探る

水道道路をたどる興味深い散歩案内でした。行間の俳句が様子を物語っています。

・フラワーランドだより

今後の課題として花づくり教室修了者たちが各団体に分かれたままになってしまうのは残念です。団体相互の交流があればより楽しめるのではないのでしょうか。

・ボケ(彩草会) 刺がありますが、葉芽の変化とは、初めて知りました。

喜多見農業公園(喜多見四丁目18)

オープニングイベント開催

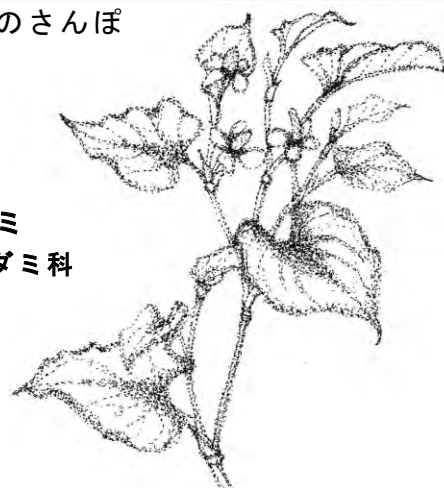
5月28日(土)、子どもたちを含み100名を超える参加者が集まりました。

いろいろなお楽しみ会の最後に、段ボール箱の中の野菜の名前を手探りで当て、賞品の大根、トマト等してもらい、みんな大喜びでした。



いきものさんぽ

ドクダミ
ドクダミ科



民間薬十薬と呼ばれ、利尿等に効く。
日陰に群生し、白い花は葉の変形、
黄色の穂状が花。

彩草会

編集後記 企業との連携による「小さな森」の新設、良いアイデアだと思います。しかも企業の趣旨と一致して、「小さな森」が活用され、宣伝効果が出れば一石二鳥となるでしょう。しかしボランティアの関わり方については今後解決すべき課題でしょう。

72号作成に関わったメンバー

大泉定雄 片寄正史 北嶋明子 須永澄子
高梨麻実 田澤與光 野武一郎 宮下正雄